

下水道事業会計[下水道課 所管]

1. 概要

令和3年度の業務の状況は、水洗化人口 15,022 人、処理水量は前年度に比べ 4.7%増の 2,811,074 m³を処理し、1日最大処理水量は 9,587 m³、1日平均処理水量は 7,702 m³でした。

事業収益総額は 1,143,054,887 円で、うち営業収益が前年度比 5.0%増の 359,685,127 円となり、事業費総額は、前年度比 1.4%減の 988,499,444 円となりました。

経常利益は、前年度比 40.0%増の 154,607,711 円となり、これに特別収支 2,268 円を減じた当年度純利益は、前年度比 44.6%増の 154,605,443 円(前年度純利益 106,913,432 円)となりました。

また、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 306,070,816 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 10,255,434 円、過年度及び当年度分損益勘定留保資金 295,815,382 円で補てんしました。

建設改良事業では、坂東市下水道事業計画に基づき公共・特定環境保全公共下水道の未普及対策(汚水)及び浸水対策(雨水)を実施しています。主なものとして岩井・猿島処理区の汚水管渠 1549.8mの整備、浸水対策としては、江川第五排水区の雨水幹線 41.7mの整備を行いました。

また、岩井浄化センターは老朽化が進んでいるため、ストックマネジメント計画に基づき、管理棟耐震補強工事、蓄電池更新工事及び水処理電気室更新工事等を行いました。

今後、施設の老朽化に伴う既存ストックの大量更新など、下水道を取り巻く事業環境は一層厳しさを増しており、多くの課題を解決する必要に迫られています。それらを踏まえて、令和3年度に「坂東市下水道事業経営戦略」を改定しました。本計画に基づき将来にわたり安定したサービスの供給が維持できるよう、下水道事業の経営に取り組みます。

※概要内の金額は、全て税抜となっています。

2. 収益の収入及び支出

(収入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 下水道事業収益	1,178,583,674
第1項 営業収益	395,301,130
第2項 営業外収益	783,223,477
第3項 特別利益	59,067

(支出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 下水道事業費用	1,012,684,138
第1項 営業費用	926,210,977
第2項 営業外費用	86,411,826
第3項 特別損失	61,335
第4項 予備費	0

3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本的収入	521,026,610
第1項 企業債	207,900,000
第2項 国庫補助金	113,438,500
第3項 県補助金	500,000
第4項 負担金	27,595,110
第5項 一般会計補助金	171,593,000

(支出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本的支出	827,097,426
第1項 建設改良費	367,687,921
第2項 企業債償還金	459,409,505

4. 業務の状況

事 項		令和3年度	令和2年度	比 較	
				増減	増減率
年度末	水洗化人口	15,022 人	15,183 人	△161 人	△1.1 %
〃	水洗化戸数	6,545 戸	6,347 戸	198 戸	3.1 %
年間	処理水量	2,811,074 m ³	2,683,918 m ³	127,156 m ³	4.7 %
〃	一日平均処理水量	7,702 m ³	7,353 m ³	348 m ³	4.7 %
〃	有収水量	2,198,743 m ³	2,104,457 m ³	94,286 m ³	4.5 %
〃	一日平均有収水量	6,024 m ³	5,766 m ³	258 m ³	4.5 %
〃	有収率	78.2 %	78.4 %	△0.2 %	△0.3 %